

1 あなたの学校やいえでのべんきょうのことにについてこたえてください。

■分析と今後の指導上の工夫

・「勉強が好きですか」の肯定割合は100%であり、市の肯定割合を大きく上回っている。教科別にみると特別の教科道徳と図画工作以外の教科で市の肯定割合を上回っている。

・家庭学習の時間については、個人差が見られるものの、低学年の目標である20分～30分と全員が回答している。今後も、家庭と連携しながら学習への取組や基礎学力の定着を図っていく。

・授業への取り組み方や勉強に対する気持ちや態度についての設問では、ほぼ全ての項目で市の肯定割合を上回っている。今後も子供たちが学習に対して「おもしろい」「もっと知りたい」と思い、自ら進んで学びに向かうような授業を目指していく。忘れ物については、家庭と連携しながら改善を図りたい。

・「宿題はきちんとやっていますか」の肯定割合は100%であり、家庭学習で学習の定着を図る習慣が身に付いている。

・「いろいろな種類の本を読むことは、楽しいですか」の肯定割合は100%であり、市の肯定割合を上回っている。今後も、身の回りのことへの興味・関心が高まるような声掛けをし、疑問に思っていることを図書やインターネットを活用して調べる学習に取り組んだり、進んで様々な本に親しませたりして、継続的に指導していく。

2 あなたのまい日の生かつについて

■分析と今後の指導上の工夫

- ・挨拶については、学校内や地域の挨拶は100%できていると回答しているが、家庭内では80%となっている。今後も、挨拶の意義について児童と確認しながら指導を継続していく。
- ・「学校の決まりや約束を守っていますか」の肯定割合は100%であり、児童が決まりや約束を守って生活している様子がうかがえる。
- ・読書については、平日も休日も10～30分程度読書している児童が多く、読書が習慣化されていることが分かる。
- ・動画視聴の時間とゲームの時間は、個人差が大きい。休日は2時間以上行っている児童もいる。家庭でのルールを確認し、ゲームとの適切な関わりができるように注意喚起していく。
- ・自分自身や友達に関することについての設問では、ほぼ全ての項目で肯定割合が100%である。児童の自己肯定感を高め、社会や学校のルールを守っていこうとする気持ちや相手の気持ちを尊重し思いやる心を今後も育てていく。

3 スマートフォンやけいたいでんわについて

■分析と今後の指導上の工夫

・携帯電話やスマートフォンを持っている児童全員が、フィルタリングをしたり、家族でルールを決めていたり、安全な使用法を守っている。今後も、インターネットには危険な側面があることを十分に理解させた上で、携帯電話やゲーム機、家庭で使うタブレット端末はフィルタリングを設定するように指導したり、「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」の家庭への啓発を継続したりしていく。

4 あなたのたい力やけんこう、しょくじ、あんぜんについて

■分析と今後の指導上の工夫

・「運動をすることは大切だと思いますか」の肯定割合は100%である。体育の授業に楽しんで取り組み、休み時間も進んで外遊びをしているので、今後も運動することを推奨していく。また、体育的行事とも関連付けたり、学習カードや検定表を活用したりと、積極的に運動する機会を確保していく。

・健康や食事についての設問では、ほとんどの項目で肯定割合が100%であった。好き嫌いや食事のマナー等については、学校栄養士や食育担当教諭の指導、給食委員会の取組により食育を進めてきた。給食指導において、校内マナー週間を設けて取り組んだことは、児童や家庭への意識付けにつながり効果が見られた。振り返りカードのコメントの保護者の協力も積極的で、家庭での食育についての意識が高いことが分かる。また、飲酒、喫煙についても、健康的な生活を目指すために、それらの危険性を理解していると考えられる。

・安全についての設問では、交通安全や不審者対応について本校の肯定割合が100%である。今後も交通ルールを守り、安全に気をつけて生活し、不審者からも身を守って行動できるように指導していく。